

第 1 0 回教育委員会臨時会議事要録

詳細 教育総務部教育総務課 電話 0 3 - 3 9 8 1 - 1 1 4 1

附属機関又は 会議体の名称	教育委員会臨時会	
事務局（担当課）	教育総務部教育総務課	
開催日時	平成 2 2 年 9 月 3 0 日 午後 2 時 0 0 分	
開催場所	教育委員会室	
出席者	委員	加藤 正克（委員長）、清田 明（委員長職務代理者）、 三神 和子、廣田 悦造、三田 一則（教育長）
	その他	教育総務部長、教育総務課長、教育指導課長、学校運営課長、 学校施設課長
	事務局	教育総務課庶務係長、教育総務課庶務係主任主事
公開の可否	公開 傍聴人数 0 人	
非公開・一部公開の 場合は、その理由		
会議次第	1. 第 4 3 号議案 臨時職員の任免 2. 報告事項 臨時職員の任免 3. 報告事項 非常勤職員の任免 4. 報告事項 平成 2 2 年度土曜補習「としまアカデミー」の実施 について 5. 報告事項 行政情報公開請求について	

審議経過

委員長)

第10回教育委員会臨時会を始めます。本日の署名は三神委員と廣田委員にお願いいたします。

(1) 第43号議案 臨時職員の任免

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

ご質問等がございましたらお願いいたします。

委員)

調理の方たちの現場でのローテーションはどうなっているのでしょうか。

教育総務課長)

調理については、3人から4人が常時出勤しています。臨時職員の中にはベテランの方もおりますので、正規職員が休みのときは、その方がローテーションに入るようにしています。

委員長)

竹岡健康学園の調理ということは、3食作っているのでしょうか。

教育総務課長)

そのとおりでございます。

教育長)

竹岡健康学園の職員は退職を間近に控え、高齢化が進んでおります。それを臨時職員の配置などでまかなっていくという事態が生まれています。今回もそのような趣旨であることをご理解いただきたいと思います。

委員)

調理は外注なのでしょうか。

教育総務課長)

竹岡健康学園の職員はすべて区職員ですので直営です。食材はすべて近くで調達しております。

委員)

いずれは外注するという考えはないのでしょうか。

教育総務課長)

調理だけではなく、児童指導についても高齢の方が多く、いずれは定年を迎えます。そうした場合に、委託ということは難しいと思いますので、できるだけ直営でやっていきたいと思います。

委員長)

それではよろしいでしょうか。

(委員全員異議なし 第43号議案了承)

(2) 報告事項第 1 号 臨時職員の任免

< 教育総務課長 資料説明 >

委員長)

ご質問等がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(3) 報告事項第 2 号 非常勤職員の任免

< 教育指導課長 資料説明 >

委員長)

後任はどうするのでしょうか。

教育指導課長)

年度途中に非常勤職員の募集というのは厳しいので、臨時職員として人選をしていこうと考えております。

委員長)

それではよろしいでしょうか。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(4) 報告事項第 3 号 平成 2 2 年度土曜補習「としまアカデミー」の実施について

< 教育指導課長 資料説明 >

委員長)

ご質問がありましたらお願いいたします。

委員)

平成 2 3 年度以降、土曜日の活用について概要が見えてくると思いますので、としまアカデミーの役割は終えるという判断でよろしいと思います。基本的にはそれぞれの学校で募集をして、工夫をしていくのが本来の姿だと思います。

委員)

指導専門員は国語と英語は各 1 名募集するとのことですが、数学について募集をしないのはなぜなのでしょう。

教育指導課長)

数学につきましては、現在、教育センターに勤務している者で対応ができます。なるべく内部の人材も使いながら、外部の人材も使っていこうと思います。

委員)

英語の学習計画を作ったのはどなたなのでしょう。つまりいた子どもができるようになるプログラムには見えないような気がします。

教育指導課長)

過去に行っていた内容を踏まえて、単元構成をしています。つまりきは文法的なことが多いので、文法事項でも生徒の興味・関心を引きつつ、教科書の順番に出ている基本的な構文構成としています。

委員長)

習熟度別班指導を行うとのことですので、その都度、必要に応じて指導がされるのだと思います。ただ、学習計画の流れがそれに合っているかどうかは、もう一度検証していただきたいと思います。

教育長)

来年度、教育課程の完全実施ということで、小学校を皮切りに再来年度は中学校が実施します。教育委員会としては、授業時数も含めて土曜日の活用のあり方を今後検討していかなければなりません。背景を考えてみると、この10年間で特別支援教育が始まり、人手が必要となりました。また、完全週5日制になり、学習が遅れている子どもや学力低下への支援策として土曜補習「としまアカデミー」が始まりました。区が独自に人を雇用し、新しい事業を興しました。学校の先生たちの負担をできるだけ軽くするために行ってきましたが、それでも先生たちは忙しく大変であるということが言われてきました。特別支援教育を見てみると、教師の対応能力、児童・生徒の理解能力の問題や指導のあり方、人手の問題と多岐に渡っています。それを人手のみで解決しようとしてきたので、教員の指導力をアップさせることに力を入れた方がいいということが、教育ビジョン策定にあたって議論されました。人手の問題としては、スクラップ・アンド・ビルドを前提として必要なものを残していくけれども、そうでないものは教員の指導力や学校の理性力を高めることにスイッチしていくことが必要だと思います。「としまアカデミー」もその1つの事業だと思いますが、予算編成するにあたっては、教育委員の先生方の意見や学校の実情を反映しながら方向付けをしていきたいと思います。

委員長)

それではよろしいでしょうか。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(5) 報告事項第4号 行政情報公開請求について

< 学校運営課長 資料説明 >

委員長)

すでに公開したということでしょうか。

学校運営課長)

公開日時は本日以降としております。

委員長)

それではよろしいでしょうか。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(午後2時40分 閉会)